

平成22年10月の結果 (二人以上の世帯)

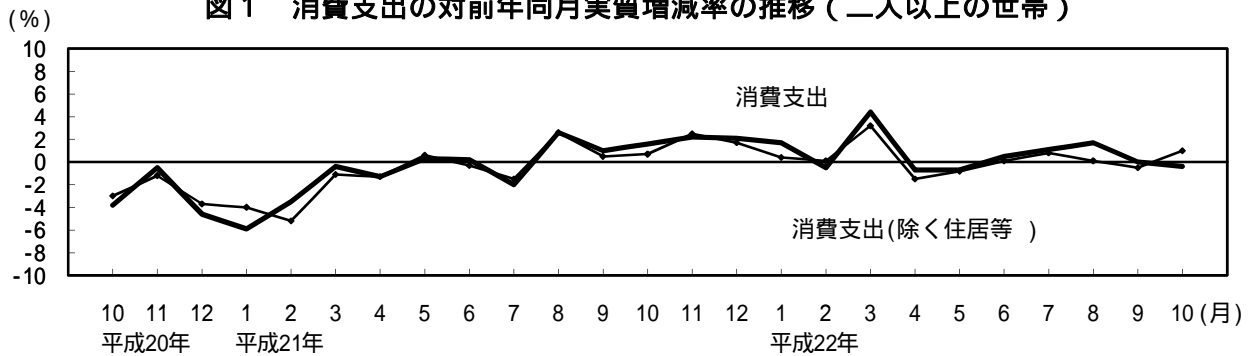
二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり	287,433 円		
前年同月比	実質 0.4%の減少	前月比(季節調整値)	実質 0.9%の減少
	名目 0.1%の減少		
消費支出(除く住居等)は、			
前年同月比	実質 1.0%の増加	前月比(季節調整値)	実質 0.7%の増加
	名目 1.3%の増加		
うち勤労者世帯の実収入は、	うち勤労者世帯の消費支出は、		
前年同月比	実質 7.2%の増加	前年同月比	実質 4.4%の増加
	名目 7.5%の増加		名目 4.7%の増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

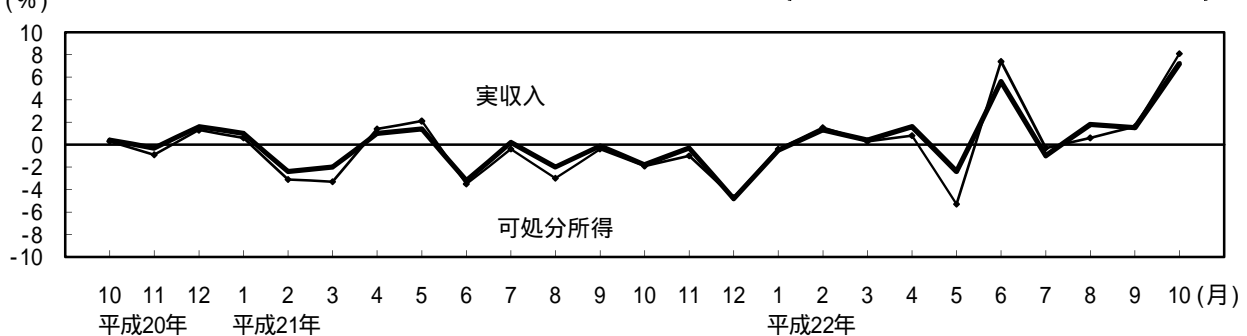
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	平成21年			平成22年									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
消費支出	1.6	2.2	2.1	1.7	-0.5	4.4	-0.7	-0.7	0.5	1.1	1.7	0.0	-0.4
消費支出(除く住居等)	0.7	2.5	1.7	0.4	0.1	3.2	-1.5	-0.8	0.1	0.8	0.1	-0.5	1.0

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	平成21年			平成22年									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
実収入	-1.8	-0.3	-4.8	-0.5	1.3	0.4	1.6	-2.4	5.6	-1.0	1.8	1.5	7.2
可処分所得	-1.9	-1.0	-4.7	-0.4	1.5	0.3	0.8	-5.3	7.4	-0.3	0.6	1.6	8.1
消費支出	0.6	0.1	0.1	1.5	-2.2	3.6	-2.3	-3.4	0.3	1.0	2.7	2.5	4.4
平均消費性向*	2.0	1.0	2.3	1.7	-2.8	3.2	-2.7	1.8	-3.5	0.9	1.6	0.8	-2.8

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成22年10月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	287,433	-0.1	-0.4	-0.4		5か月ぶりの実質減少
食料	68,698	-0.4	-2.0	-0.47	<減少> 野菜・海藻,果物など	3か月連続の実質減少
住居	15,998	-8.4	-7.8	-0.48	<減少> 設備修繕・維持	3か月ぶりの実質減少
光熱・水道	19,379	7.7	4.1	0.25	<増加> 電気代,上下水道料など	3か月連続の実質増加
家具・家事用品	10,244	7.6	12.2	0.40	<増加> 家庭用耐久財,寝具類など	5か月連続の実質増加
被服及び履物	12,763	3.9	5.1	0.21	<増加> 洋服,和服など	3か月ぶりの実質増加
保健医療	12,500	-7.3	-7.3	-0.34	<減少> 保健医療サービス,保健医療用品・器具	3か月連続の実質減少
交通・通信	36,459	-5.9	-5.9	-0.79	<減少> 自動車等関係費,通信など	4か月ぶりの実質減少
教育	15,739	-3.5	10.9	0.62	<増加> 授業料など	5か月連続の実質増加
教養娯楽	32,342	10.2	11.2	1.14	<増加> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽サービス	4か月ぶりの実質増加
その他の消費支出	63,311	-0.5	(-0.8)	(-0.18)	<減少> 諸雑費,こづかい	4か月連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

注2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

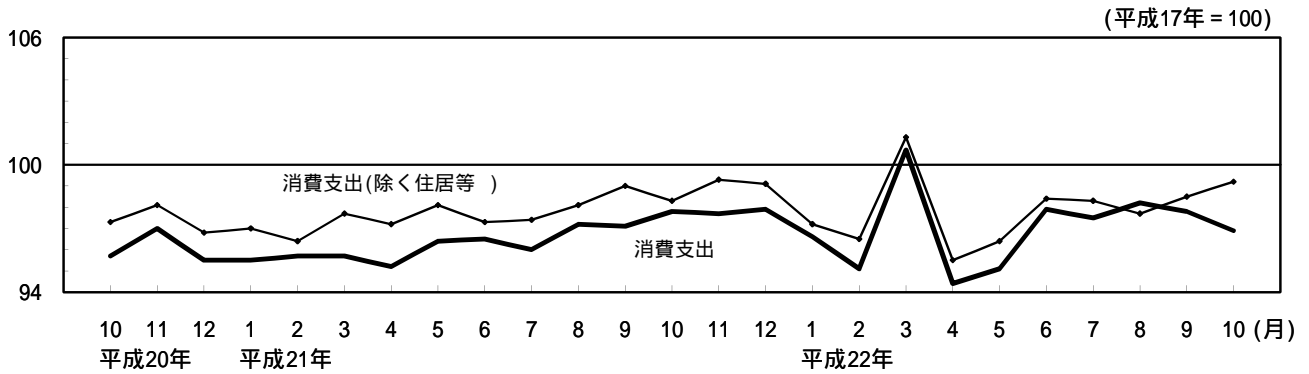
中分類	実質寄与度	品目
<減少項目>		
諸雑費	[-0.79]	たばこ,非貯蓄型保険料
自動車等関係費	[-0.68]	自動車購入,自動車等関連用品
設備修繕・維持	[-0.63]	外壁・塀等工事費,他の工事費*
保健医療サービス	[-0.34]	医科診療代,出産入院料
野菜・海藻	[-0.30]	トマト,レタス
<増加項目>		
教養娯楽用耐久財	[1.40]	テレビ,ビデオデッキ
授業料等	[0.88]	私立大学,私立中学校
家庭用耐久財	[0.41]	エアコンディショナ,電気冷蔵庫
電気代	[0.38]	
交際費	[0.30]	贈与金

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

注2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

* 「他の工事費」には、「給排水関係工事費」や「外壁・塀等工事費」以外の住宅に関する工事費等が含まれる。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	平成21年			平成22年									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
消費支出	97.8	97.7	97.9	96.6	95.1	100.7	94.4	95.1	97.9	97.5	98.2	97.8	96.9
対前月変化率(%)	0.7	-0.1	0.2	-1.3	-1.6	5.9	-6.3	0.7	2.9	-0.4	0.7	-0.4	-0.9
消費支出(除く住居等)	98.3	99.3	99.1	97.2	96.5	101.3	95.5	96.4	98.4	98.3	97.7	98.5	99.2
対前月変化率(%)	-0.7	1.0	-0.2	-1.9	-0.7	5.0	-5.7	0.9	2.1	-0.1	-0.6	0.8	0.7

注 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成22年10月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備考
		名目	実質		
実収入	494,398	7.5	7.2	7.2	3か月連続の実質増加
世帯主収入	359,891	1.3	1.0	0.78	3か月連続の実質増加
定期収入	353,049	1.2	0.9	0.65	4か月連続の実質増加
配偶者の収入	51,647	6.4	6.1	0.64	9か月連続の実質増加
うち女性	50,560	5.1	4.8	0.50	9か月連続の実質増加
他の世帯員収入	10,348	25.9	25.5	0.46	5か月連続の実質増加
非消費支出	74,866	3.0	-	-	3か月連続の増加
可処分所得	419,532	8.4	8.1	-	3か月連続の実質増加
消費支出	320,727	4.7	4.4	-	5か月連続の実質増加
平均消費性向(%)	76.4	(前年同月) (ポイント差) 79.2 -2.8			季節調整値でみると、70.2%で、前月に比べ、4.7ポイントの低下となった。